

委＝美浜町教育委員会＝山本敬美浜町教育長 竹内康雄教育部長 黒田靖浩指導主事 竹内与七学校教育課長

知教労＝組 佐田京美 市野司 柴田洋子

1-1 美浜町独自の多忙化解消について

組 県の多忙化解消プランを受けて町独自の具体策は？

委 80時間超過者の報告をさせている。今年度から、学校から町教委への提出文書は、かがみ不要とした。昨年度から、紙媒体でなく学校間の交換フォルダを活用してデータで交換している。

組 市町独自のプロジェクトが立ち上がっているところもあるが、美浜町はいかがか。

委 検討はしているが、立ち上がってはいない。

組 今後の多忙化解消の予定は？

委 県から勤務全般のガイドラインが出てくると聞いている。それを受けて改善していきたい。お金に関わることは今すぐにはやれない。

組 武豊町では一般職員の声をくみ上げるアンケート用紙が配られた。それで武豊は細かいことの改善が進んでいる。東海市もアンケートをとった。東浦町は校務支援ソフトを活用して意見を募る検討をしている。

委 先進的なところの話を聞いて、やれることはやってみたいと思う。美浜町は財政が厳しい中で日本語が話せる英語の指導員を増員した。国は小学校の英語を担当がやれといっているが、いきなりやるのは無理がある。先生の負担を減らすために頑張った。今までは6小学校に1人だったのが、今は3小学校に1人で、小学校はフルカバーされている。教員との打ち合わせがスムーズにいくために日本人の方を充てた。

また、校務支援ソフト（F1）を取り入れ、通知表の作成は以前より手間がかからなくなった。このソフトは学校間、学校と教委間だけでなく、図書館ともネットワークがつながっていて、教員が授業に必要な本を図書館から持ってきてもらえる。

組 図書館にまでつながっているソフトは画期的だ。

1-2 部活動について

組 部活動について。町独自のガイドラインはあるか？

委 週2日の休養は行っている。

組 休業日の部活を半日にすることは？

委 学校の練習では半日。外に出る練習試合、大会はなかなか半日では終われない。

組 半日を超過してしまった場合、他の日を休養日にしているか？

委 それは苦しい。

組 中学校の朝部活はやめられないか？

委 部活に関しては県の指針が出てからどうするかを考える。

組 小学校部活はやめられないか？学習指導要領にも記載がないので既にやめている学校もある。

委 来年度県が出す指針を受けてどう削るか改めて考える。小学校部活はその課題の中のの一つ。

組 何かを減らすと教員・保護者・地域から「どうしてなくすのか」という苦情はあるのだろうが、教員の超過勤務が許されるわけではない。教育委員会が盾となって、「超過勤務をなくすんだ」と闘ってほしい。

組 部活顧問をする・しないの選択肢を設けてほしい。

委 学校で決めれば良い。

組 生徒の入部の自由も学校で決めればよいか？

委 学校外で活動している生徒は校外部でいい。学校で決めれば良いと思う。

組 部活動を社会体育に移行する計画はないか？

委 人と財政の問題が大きい。高齢化が進んで、スポーツを教えられるような人が地域にいない。外部指導者がいるのなら頼みたい。

組 美浜町は日福と提携していると聞いたが、大学生をサークル活動の主体として生かせないか？

委 大学生は自分たちの部活があり、小中の部活のことまで面倒を見られない。大学側が指導を引き受けてくれるのなら、喜んでお願いしたい。

1-3 業務の縮小・負担軽減について

組 業務の縮小について。組合から20個提示した中で、できそうなことはないか？

例えば職場体験はしなくてよいのでは？キャリア教育は別の方法もある。

委 選択肢の一つではある。

組 成績処理の時間確保を学校にやってくれと指示してもらえるか？短縮授業にしたり、部活を無しにしたりできないか。

委 選択肢の一つではある。

組 副教材等の出版物の編集はやめられないか。本当に必要ならデータ化すればよい。

委 データ化は一つの手だと思う。

組 学校訪問について。指導案の作成に時間がかかりすぎる。何回も書き直しをすることもある。

委 現職は略案でいいと思う。学校訪問の指導案も、こだわるところは中身。年1回のことなので指導案で「1時間の授業を作りあげる」ことを若い先生にはやってほしい。その部分を多忙だから削るといっているのはいかがでしょうかと思う。

組 指導案が立派だからといって授業が立派とは言えない。学校訪問自体が一大行事になっている。そんな過大な重荷が本当に必要なのか？全員が指導案を書き、全員が授業を見られるという形を、もう少し負担軽減の方向で検討してほしい。

組 通知表所見の記入はどうなっているか？

委 各学校で学校長が判断している。3学期だけでいいと思うが、最終的には校長の判断。校長会には話をしてみる。

2 労働条件整備について

組 タイムカード、ICカードの導入は検討できないか？

委 難しい。

組 夏休みに閉校期間を設けることは？

委 どちらでも良いと思う。

組 提案していただけると、校長先生もそういう手もあるかと考えると思う。

委 校長会で話をしてみる。

組 留守電の導入は？

委 古い電話を更新する際に8校のうち4校はナンバーディスプレイと留守番電話機能のある電話が入った。留守電としての運用は学校の判断だ。

組 学校任せで進まないようならば、多忙化解消は教育委員会が主導して行ってほしい。

3 その他

組 学テ結果の公表や対策は？

委 しない。

組 ハラスメントの相談に第三者機関を設けてほしい。管理職、教委、事務所もハラスメントをした人を庇ってしまう。弁護士が良いと思う。

委 いいと思うがすぐにやるのは難しい。

組 多忙化解消プランは一般教諭があまり見ていない。紙かデータで配布してほしい。教頭が多忙化解消プランを職員室で説明したら、皆が早く帰るようになった学校もある。校長が言ってくれるだけでも職員の意識が変わる。

委 学校訪問で確認したが、全員に配っている学校もあった。話はしていきたい。

組 出退校記録について。子どもがいれば休憩は取れない。子どものいない休憩が取れている日と休憩がとれない日を分けたシートはできないか。

委 入力負担にならない形で検討したい。

以上